

研究集会

No.	研究課題名	研究代表者	所属・職	分野	受入責任教員等	開催時期 (予定)	開催場所
1	太陽地球環境データ解析に基づく超高層大気の間 空間・時間変動の解明	能勢 正仁	名古屋大学宇宙地球環境研 究所・准教授	宙空圏	門倉 昭 田中 良昌	H30.9.10～ 14(のうち3 日間)	情報通信研究機構
2	PANSY研究集会	佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科・ 教授	宙空圏	堤 雅基 西村 耕司 富川 喜弘	H31.3月中 の1日	国立極地研究所
3	極域磁場・オーロラ変動のグローバルメカニズム研 究会	田中 高史	九州大学国際宇宙天気科学・教 育センター・学術研究者	宙空圏	片岡 龍峰	H30.9.1	国立極地研究所
4	中間圏、熱圏、電離圏(MITI)研究集会	鈴木 秀彦	明治大学理工学部・専任講師	宙空圏	富川 喜弘	H30.9.11～ 13	情報通信研究機構
5	宙空および周辺分野のシミュレーション研究集会	埜 千尋	国立研究開発法人情報通信研 究機構電磁波研究所・研究員	宙空圏	片岡 龍峰	H30.9.3～5	成蹊大学又は 情報通信研究機構
6	地球環境の歴史的変遷に関する文理融合研究	谷川 恵一	国文学研究資料館・副館長/教 授	宙空圏	片岡 龍峰	H31.1月頃	国立極地研究所
7	「太陽地球系結合過程の研究基盤形成」の推進	山本 衛	京大大学生存圏研究所・教授	宙空圏	宮岡 宏 小川 泰信	H30.9.1	国立極地研究所/京大 大学生存圏研究所
8	EISCAT研究集会	宮岡 宏	国際北極環境研究センター・教 授	宙空圏	宮岡 宏 小川 泰信	H31.2～3 月	国立極地研究所
9	極域科学計算機システムを用いた極域科学研究の 今後の展開	岡田 雅樹	国立極地研究所・准教授	宙空圏	岡田 雅樹	H30.5.18	国立極地研究所
10	極域における宙空圏観測・研究の将来構想に関する 研究集会	富川 喜弘	国立極地研究所・准教授	宙空圏	富川 喜弘 行松 彰 小川 泰信	H30.5月頃	国立極地研究所
11	SuperDARAN研究集会	行松 彰	国立極地研究所・准教授	宙空圏	行松 彰	H30.7月～ 12月の2日 間	名古屋大学
12	南極海洋-海水-氷床システムの相互作用と変動に 関する研究集会	青木 茂	北海道大学低温科学研究所・准 教授	気水圏	田村 岳史	H31.1.15	国立極地研究所

No.	研究課題名	研究代表者	所属・職	分野	受入責任教員等	開催時期 (予定)	開催場所
13	寒冷域における降雪観測や雪結晶の研究と教育の今後の展望	島田 亙	富山大学理学部・准教授	気水圏	本山 秀明	H31.3.25	国立極地研究所
14	2018年度 エアロゾル・雲・降水の相互作用に関する研究集会	佐藤 陽祐	名古屋大学大学院工学研究科・助教	気水圏	當房 豊	H31.1月	国立極地研究所
15	南極エアロゾル研究会	原 圭一郎	福岡大学理学部・助教	気水圏	塩原 匡貴	H30.7.26～27	国立極地研究所
16	ロシア北極域の環境変動観測研究の現状と将来	飯島 慈裕	三重大学大学院生物資源学研究科・准教授	気水圏	榎本 浩之	H30.11.1	国立極地研究所
17	永久凍土の変動とそのモニタリングに関する研究集会	原田 鉦一郎	宮城大学食産業学群・教授	気水圏	榎本 浩之	H30.11.15～16	国立極地研究所
18	南極30m級テラヘルツ望遠鏡によるサイエンスの検討	久野 成夫	筑波大学数理物質系・教授	気水圏	本山 秀明	H30.9頃	国立極地研究所
19	グリーンランドの氷床・気候変動とその影響	東 久美子	国立極地研究所・教授	気水圏		H30.10月 又はH31.3月	国立極地研究所
20	南極ドームふじ氷床深層コア全層詳細解析および「最古のアイスコア」についての研究討論集会	藤田 秀二	国立極地研究所・教授	気水圏		H31.3月	国立極地研究所
21	2018年度 極域大気～アイスコア中の微生物に関する研究集会	中澤 文男	国立極地研究所・助教	気水圏	中澤 文男	H30.11.9～11	国立極地研究所
22	可聴下波動伝播特性による極域の多圏融合物理現象解明に関する研究集会-IV	山本 真行	高知大学システム工学群・教授	地圏	金尾 政紀	H31.3.26～27	国立極地研究所
23	東南極リュツォ・ホルム岩体およびその周辺地域・関連地域の地殻進化の研究	豊島 剛志	新潟大学自然科学系(理学部)・教授	地圏	外田 智千	H30.7.15～16	国立極地研究所
24	極域のオープンデータ・オープンサイエンスに関する研究集会	金尾 政紀	データサイエンス共同利用基盤施設/国立極地研究所・准教授	地圏	金尾 政紀	H30.7.24	国立極地研究所
25	太陽系小天体探査に向けた惑星物質の分光的研究(その2)	海田 博司	国立極地研究所・助教	地圏		H30.12.10	東京大学駒場キャンパス

No.	研究課題名	研究代表者	所属・職	分野	受入責任教員等	開催時期 (予定)	開催場所
26	極域から探る地球表層変動と固体地球の応答	奥野 淳一	国立極地研究所・助教	地圏	奥野 淳一	H31.3月	国立極地研究所
27	南極沿岸生態系における動物相の多様性解明に向けて	角井 敬知	北海道大学大学院理学研究院・講師	生物圏	伊村 智	H30.11.23	国立極地研究所
28	「北極研究の長期構想」改訂を踏まえた北極研究構想研究集会	青木 輝夫	岡山大学理学部地球科学科・教授	気水圏	榎本 浩之	H30.4.12～13	国立極地研究所
29	無人機の活用による極地観測の展開	林 政彦	福岡大学理学部・教授	宙空圏	片岡 龍峰	H30.7.30	国立極地研究所
29	件						